

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇 〇〇様

独立行政法人科学技術振興機構

〇〇 〇〇

「良いシーズをつなぐ知の連携システム(つなぐしくみ)」

に関わる評価分析結果通知について

拝啓

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたびは「良いシーズをつなぐ知の連携システム(つなぐしくみ)」にご申請いただきまして、ありがとうございます。ご申請いただきました課題について評価分析した結果を、下記のとおりお送りいたしますのでご査収ください。本通知を今後の研究開発にご活用いただければ幸いです。

敬具

－ 記 －

以下の申請課題につきましては、特許成立可能性または展開可能性の評価が低いため、本事業によるさらなる評価分析・支援を実施しないこととなりました。

課題名： 〇〇〇〇〇〇多孔質膜を用いた△△△△△△△△△太陽電池

特許成立可能性

〇〇〇〇〇〇利用して〇〇〇〇〇〇用の電極を作製する技術には、類似先行技術として特開〇〇〇〇-〇〇〇〇〇〇〇〇などがありますので、特許成立のためには、それらを意識した修正が必要になる可能性があります。

展開可能性

〇〇〇〇〇〇太陽電池は、今後、発展が期待されますが、これに関する研究が多種行われておりますので、それらの中で本技術を採用するという企業の立場では、〇〇〇〇〇〇法を用いる方法など他に研究されている技術に対するより一層の優位性が求められるものと思われまます。

その他

〇〇〇〇プロセスで高性能太陽電池が作製できるということであれば、実際に実用的な〇〇〇〇〇〇上に太陽電池を形成し、“〇〇〇〇〇〇太陽電池”としての機能について、効率その他のデータを揃えることが第一に重要な点と考えられます。また、装置コストだけでなくランニングコストに直接関わる原材料費についても検討することが望まれます。本申請においては、研究進捗状況について十分に記述されていない部分もありますが、まずは実験室レベルで基礎データを取得し、優位性を検証する必要があるものと思われまます。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

技術移転促進部シーズ展開課担当〇〇

Tel 03-5214-7519、E-mail tsunagu@jst.go.jp